

宝くじ助成事業による水辺空間整備に関する 広報活動事業

業務部

水辺は、人々の生活に潤いを与える象徴として再認識され、特に都市において、水と緑の連続した河川空間は貴重なオープンスペースとして重要視されている。

河川空間は、花火・散策・凧あげ・魚釣り等のレクリエーション、水泳・ボート・ゴルフ等のスポーツ、船下り・鵜飼等の観光、流しびな・灯籠流し・七夕等の古来から引き継がれている行事といったように生活と密接なかかわりをもっている。

近年は、水辺の持つ魅力を生かすため、ふるさとの川モデル事業、スーパー堤防整備事業、マイタウン・マイリバー整備事業、桜づつみモデル事業等水辺空間整備事業が全国的に展開されるようになってきている。

このような水辺空間整備について、広く一般の方々に情報を提供し、水辺空間整備事業への理解・効果を深める広報活動は、水辺空間整備の調査研究、計画立案、データバンク等とともに事業活動の重要な一つでもある。

宝くじ助成事業による水辺空間整備に関する広報活動事業は、財団法人日本宝くじ協会より昭和62年度から助成金を受け、水辺空間整備の広報活動の一環として行っている。平成元年度は51,440千円の助成金を受け以下の事業を実施した。

1. アメニティ・リバーフロント施設の設置

水辺空間整備を実施している地区において、アメニティ・リバーフロント施設を設置することにより、その周辺が一段と機能を発揮して魅力が増し、多くの人々から親しく活用されることをねらいとして、次の3箇所に設置した。

- ①横手川（横手市）・水辺のブロンズ（長衣の女）
- ②小田川（愛媛県五十崎町）・アユのモニュメント



水辺のブロンズ「長衣の女」



水辺のカッパ像



アユのモニュメント

③松原川（佐賀市）・水辺のカッパ像

2. パンフレット等の作成

パンフレット等は、川でのイベントの紹介、国内外における水辺空間整備に関する調査研究成果のとりまとめ、リバーフロント整備に関する啓発資料、水辺空間整備の必要性、効果等を訴えるパンフレット、ポスター、カレンダーを作成し、地方自治体、国の機関等に配布し、水辺空間整備への理解と地方自治体等の計画策定のための基礎資料として活用されるよう次の6項目を実施した。

- ①「水辺のイベント」のパンフレット作成
- ②我が国の代表的な「川下り」、「鵜飼」のリバーガイドマップ作成
- ③「水辺は楽しい素敵なところ」をキャッチ・フレーズとしたポスター作成
- ④「水辺と鳥」をテーマとしたカレンダー作成
- ⑤西ドイツやスイスで試みられている多自然型建設工法の実施状況を中心にとりまとめた「まちと水辺に豊かな自然を」の水辺空間整備実施例の作成
- ⑥リバーフロント整備に関する水文化情報等のリバーフロント啓発資料の作成

平成2年度も、昨年度に引き続き宝くじ協会から助成金を受け、水辺空間整備に関する広報活動事業を実施する計画であり、特にアメニティ・リバーフロント施設は、水辺空間の景観等にマッチしたモニュメント的な位置づけることが多い施設であり、施設は当センターが設置し、完成後、市町村に寄贈することとしている。

なお、アメニティ・リバーフロント施設等の詳細は、業務部におたずね下さい。